

1416 職場体験（大綱中学校）

・・・大綱中学校の1年生が一日土木事務所の仕事を体験しました・・・

1月5日、大綱中学校の1年生が土木事務所の仕事を一日体験しました。

職場体験の中では、これまでの生活では気付かなかった、道路に埋設されている配管や境界線などについて教えてもらい、道路の補修等で住民の生活が守られていること、放置自転車の撤去なども土木事務所で行っている事を知りました。

《土木事務所の業務を体験してみてどうでしたか？》

体験された生徒さんに感想を書かせていただきました。

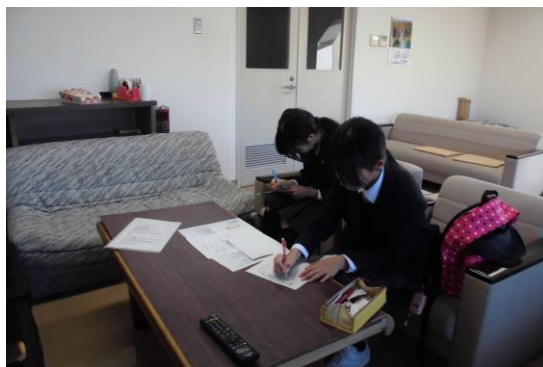
大綱中学校 1年 富田 妃菜

私は、今回のこの職場体験をして、普段何気なく見ている風景は多くの働いている方々に支えられているのだなあと思いました。

私が今回行かせていただいた職場は、港北土木事務所というところです。ここは、私達が使っている道路や下水道・水路・公園等の管理を行っている所です。

今回は、道路の環境線や地下に埋まっている配管の工事等の目印を教えてもらい、実際に外で探してみました。すると、13年間この町にいるのに気がつかない印が何個もありました。また、私の気がつかない所で、道路のへこみを直してくださったり、通行に邪魔なものを撤去してくださったりと、私達が安全に暮らせるように活動してくださっている所に感動しました。

働いている方々のおかげで今も安全にすごせていると思うと、とても感動しました。



感想文を書いています・・・

大綱中学校 1年 女子

私は今日、職業体験をして、普段から使っている道にも、実はいろいろな通信や下水、ガス、電力などが多く埋まっているというのはとても意外でした。一部は知っていたのですが、こんなに多くのものがあるとは知りませんでした。

そして、道の境界の目印として、境界石というものが使われているのも、今回初めて知りました。境界石は見たことがあったのですが、それが何の役割をしているのかは全く知りませんでした。

そして、土木事務所では自転車などの撤去も行われていて、もしこれがなかったら大変だと思いました。

今回、職場体験をさせていただいて、とてもいろいろな事を知れました。とても面白かったです。